

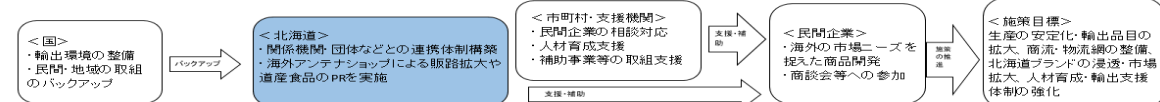


令和3年度 基本評価調書①		所管部局 所管課	経済部 食関連産業室		担当局長 照会先	例 示
施策名	道産食品の輸出拡大				施策 コード	
政策体系 (中項目)	アジアなど海外への北海道産食品の輸出拡大				政策体系 コード	2(5)A
知事公約	C0109 C0110	総合戦略	A3124 A3222	国土強靱化	-	事務事業数 6
SDGs	2.b 8.1 (外部公表時はゴールのマーク使用)		 	総合判定	やや遅れている	

【1 Plan】

施策目標	「生産の安定化・輸出品目の拡大」、「商流・物流網の整備」、「北海道ブランドの浸透・市場拡大」、「人材育成・輸出支援体制の強化」といった4つの基本戦略に沿った施策を品目別、国・地域別に展開し、旺盛な海外需要を積極的に取り込み、力強い経済の構築を進めていく。					
現状と課題	一次産品の安定生産や輸出品目の多様化、輸送手段やコストの改善、付加価値の高い商品の開発促進、輸出に携わる人材の育成など					
主な取組	ホタテガイの販路拡大及び価格安定を図るため、EUへの輸出に必要な衛生管理基準をクリアできる体制整備 道の海外事務所を通じて、市場ニーズの把握から販路開拓など、企業等の活動を支援等					
予算額	R3	203,633	R2	170,986	R1	130,923
決算額		-				
施策のイメージ	 <p>＜国＞ ・輸出環境の整備 ・民間・地域の取組のバックアップ</p> <p>＜北海道＞ ・関係機関・団体などの連携体制構築 ・海外アンテナショップによる販路拡大や道産食品のPRを実施</p> <p>＜市町村・支援機関＞ ・民間企業の相談対応 ・人材育成支援 ・補助事業等の取組支援</p> <p>＜民間企業＞ ・海外の市場ニーズを捉えた商品開発 ・商談会等への参加</p> <p>＜施策目標＞ 生産の安定化・輸出品目の拡大、商流・物流網の整備、北海道ブランドの浸透・市場拡大、人材育成・輸出支援体制の強化</p>					

＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	億円	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
道産食品輸出額（億円）（暦年）	目標値		1500	1500	1500	1500	78.8%	D
	実績値		900	1000	1182	-		
設定理由	道から道内港を通じ直接海外へ輸出された道産食品の通関額及び道外港を通じ海外へ輸出された道産食品の通関額の推計。							
分析（主な取組と成果）								
道産食品のさらなる輸出拡大を図っていくため、一次産品の安定生産や輸出品目の多様化、付加価値の高い商品の開発、輸出に取り組む人材の育成などが重要であると認識している。								

指標名②	増加	億円	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
特区が関与した食品の輸出額・輸入代替額	目標値		900	1,030	1,730	2,600	87.9%	C
	実績値		700	800	906	-		
設定理由	北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特別区域計画に基づき、特区に及ぼす経済的社会的効果を測る評価指標及び数値目標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
道産食品のさらなる輸出拡大を図っていくため、一次産品の安定生産や輸出品目の多様化、付加価値の高い商品の開発、輸出に取り組む人材の育成などが重要であると認識している。								

指標名③	増加	認証数	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
輸出に必要な国際認証・登録等数	目標値		25	30	40	50	180%	A
	実績値		30	40	54	-		
設定理由	北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特別区域計画に基づき、特区に及ぼす経済的社会的効果を測る評価指標及び数値目標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
道産食品のさらなる輸出拡大を図っていくため、一次産品の安定生産や輸出品目の多様化、付加価値の高い商品の開発、輸出に取り組む人材の育成などが重要であると認識している。								

令和3年度 基本評価調書②	施策コード	05031
	施策名	道産食品の輸出拡大

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	R元年度	R2年度	R3年度	R3目標値	指標判定
	道産食品輸出額（億円）（暦年）	900	1,000	1,182	1,500	D
	特区が関与した食品の輸出額・輸入代替額	700	800	906	1,730	C
	輸出に必要な国際認証・登録等数	30	40	54	40	A
目標（指標）の達成状況	輸出に必要な国際認証・登録等数は最終目標を上回り順調に伸びているが、道産食品輸出額、特区が関与した食品の輸出額・輸入代替額ともに目標に向けたさらなる取組が必要				指標総合判定	C
連携状況	「食の輸出拡大戦略推進本部員会議」などを通じ、常に関係部局と連携した取組を行うとともに、各品目の輸出拡大、安定した販路の構築、海外における北海道ブランドの浸透などにおいて、関係部と連携した成果が確認できる。				連携判定	○
緊急性優先性	企業へのアンケート調査やヒアリング調査により集約された意見を踏まえ、事業間連携による支援体制の充実、きめ細やかなフォローアップによる継続取引の促進、地域が一体となった海外展開への支援など、関連する取組の効果的な推進を図っている。				優先生緊急性判定	○
総合判定の根拠	道産食品の輸出拡大に向けて、総合的支援体制の確立や、海外の市場拡大に向けた取組が着実に推進されているものの、指標の達成に向けたさらなる取組が必要。				総合判定（一次評価）	やや遅れている

	内容
翌年度に向けた対応方針	<p>食の輸出拡大戦略に対応するため、道と関係機関等が連携を図りながら輸出拡大に向けた取組を進め、道内事業者が輸出に取り組みやすい環境整備を推進。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、ワインの首都圏等プロモーション事業の一部延期（ウポポイ、ワインのタベ）</p>

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	社会経済情勢に合った取組内容を検討し実施すること。	対応状況（R3.3時点）	研修方法をWebで開催するなど、参加機会を減少させないような取組を進める。
R3年度二次政策評価	国内外における新型コロナウイルス感染症による需要減の見込等を踏まえた上で、施策や事業のあり方、また、設定指標について適切に検討すること。	総合判定（二次評価）	改善

【3 Action】

二次政策評価への対応	北海道食の輸出拡大戦略に対応するため、道と関係機関等が連携を図りながら輸出拡大に向けた取組を進め、道内事業者が輸出に取り組みやすい環境整備を推進。
R4施策の方向性	研修やプロモーションなどWEB等での開催を行うことであらゆる状況に対応できるような方法で周知に努め、旺盛な海外需要を積極的に取り込み、力強い経済の構築を進める。
R4事務事業の方向性	研修やプロモーションなどWEB等での開催を行うことであらゆる状況に対応できるような方法で周知に努めていく。

令和3年度 補助指標調書①	施策コード	05031
	施策名	道産食品の輸出拡大

【成果指標の達成状況】

補助指標名①	増加	億円	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
道産食品輸出額（億円）（暦年）		目標値	1500	1500	1500	1500	78.8%	D
		実績値	900	1000	1182	-		
設定理由	道から道内港を通じ直接海外へ輸出された道産食品の通関額及び道外港を通じ海外へ輸出された道産食品の通関額の推計。							
分析（主な取組と成果）								
<p>主な原因はホタテガイの輸出額が減少したもの。 道としては、今後、道産食品のさらなる輸出拡大を図っていくため、一次製品の安定生産や輸出品目の多様化、付加価値の高い商品の開発、輸出に取り組む人材の育成などが重要であると認識している。</p>								

補助指標名②	増加	億円	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
特区が関与した食品の輸出額・輸入代替額		目標値	900	1,030	1,730	2,600	87.9%	C
		実績値	700	800	906	-		
設定理由	北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特別区域計画に基づき、特区に及ぼす経済的社会的効果を測る評価指標及び数値目標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
<p>輸出の主力であるホタテ等の水産品の輸出額の大幅な落ち込みが影響し目標が未達成となった。</p>								

補助指標名③	増加	認証数	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
輸出に必要な国際認証・登録等数		目標値	25	30	40	50	180%	A
		実績値	30	40	54	-		
設定理由	北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特別区域計画に基づき、特区に及ぼす経済的社会的効果を測る評価指標及び数値目標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
<p>国際認証の取得・登録に向けた研修会を開催し、企業による認証取得・登録のサポートを行った。</p>								

補助指標名④	増加	認証数	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
輸出に必要な国際認証・登録等数		目標値	25	30	40	50	180%	A
		実績値	30	40	54	-		
設定理由	北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特別区域計画に基づき、特区に及ぼす経済的社会的効果を測る評価指標及び数値目標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
<p>国際認証の取得・登録に向けた研修会を開催し、企業による認証取得・登録のサポートを行った。</p>								

補助指標名⑤	増加	認証数	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
輸出に必要な国際認証・登録等数		目標値	25	30	40	50	180%	A
		実績値	30	40	54	-		
設定理由	北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特別区域計画に基づき、特区に及ぼす経済的社会的効果を測る評価指標及び数値目標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
<p>国際認証の取得・登録に向けた研修会を開催し、企業による認証取得・登録のサポートを行った。</p>								

令和3年度 基本評価調書(事務事業)	施策名	道産食品の輸出拡大	施策コード	05031
---------------------------	-----	-----------	-------	-------

Plan

【4 事務事業の設定】

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和3年度						
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)
									本庁	出先機関	人工計	
0109	-	一般	北海道食産業総合振興機構負担金	北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区に係るマネジメント組織の運営に要する費用を負担する。	食関連産業室		14,000	14,000	0.1	0.0	0.1	14,792
0119	-	一般	北海道食のキーパーソン育成事業(創生交付金)	道産食品の高付加価値化と北海道ブランドの磨き上げを図るため、食関連産業を牽引する人材を育成する。	食関連産業室		19,276	10,200	1.2	0.0	1.2	28,780
0120	-	一般	道産ワイン高度人材確保事業(創生交付金)	ワイン製造業を担う高度人材の育成研修やデータベース構築による新規参入者等への支援に取り組む。	食関連産業室		74,142	37,932	3.1	0.0	3.1	98,694
0134	-	事務	食の輸出拡大戦略に係る推進管理事務	戦略の推進管理や関係機関等との連携体制の運営などの業務。	食関連産業室		0	0	0.8	0.0	0.8	6,336
0135	-	一般	海外アンテナショップの支援強化による道産食品販路拡大事業(創生交付金)	海外アンテナショップを活用し、テスト販売の充実や支援機能の強化など、道産食品のPRを実施し、海外における販路拡大を図る。	食関連産業室		62,392	31,937	0.2	0.0	0.2	63,976
0136	-	一般	道産食品輸出企業海外進出促進事業費(創生交付金)	新たな北海道食の輸出拡大戦略の取組内容に基づき、日本食の認知度が高く、日本からの農林水産物輸出額も多い、香港・台湾において北海道ブランドの浸透と道産食品の販路拡大の促進を図る。	食関連産業室		33,823	17,577	0.5	0.0	0.5	37,783
											0.0	0
											0.0	0
											0.0	0
											0.0	0
											0.0	0
											0.0	0
											0.0	0
											0.0	0
											0.0	0
											0.0	0
計							0	203,633	111,646	6	0	6